６．教育

６－１.学生状況

1.入学者数及び出身地

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2023年度	340	299	41	235	105
2024年度	337	309	28	270	67
2025年度	329	307	22	249	80

2.在学者数

2025年度5月1日現在

	年初在籍			退学				途中休学		
1年生	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	336	68	268	0	0.0%	0	0	0	0	0
	年初在籍			退学				途中休学		
2年生	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	306	57	249	0	0.0%	0	0	0	0	0
	年初在籍			退学				途中休学		
3年生	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	64	6	58	0	0.0%	0	0	0	0	0
	年初在籍			退学				途中休学		
合計	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	706	131	575	0	0.0%	0	0	0	0	0

6-2.カリキュラム

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　トリマーコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	トリマーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	26	14	2				40
	トリミング理論	26	14	2				40
	ネコ学				14	14	1	28
	ペット健康管理学				14	14	1	28
	トリマー概論				28	42	4	70
	愛犬飼育管理論		28	1				28
	しつけ行動学	26		1				26
	ペットサロン概論＆商品知識	26	13	2				39
	専門教養計	104	69	8	56	70	6	299
専門演習	PEIAブロンズ演習				84		5	84
	PEIAシルバー演習					84	5	84
	ドッグトレーニング		39	2				39
	サマートレーニング		18	1				18
	専門演習計	0	57	3	84	84	10	225
専門実習	グルーミング実習	252	264	17				516
	グルーミング実習2				252	252	16	504
	業界インターンシップ					150	5	150
	専門実習計	252	264	17	252	402	21	1170
	専門合計(A)	356	390	28	392	556	37	1694
ビジネス教養	パソコン	26		1				26
	ビジネストレーニング		16	1				16
	就職ガイド2				20		1	20
	自己理解＆就職ガイド	13	13	1				26
	コミュニケーション	13	14	1	14	14	1	55
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	52	43	4	34	14	2	143
総合計(A＋B)		408	433	32	426	570	39	1837
		841			996			
		合計単位数				71		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　トリマーコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	トリマーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学Ⅰ	30	14	2				44
	犬学Ⅱ	30	28	3				58
	ネコ学				13	13	1	26
	エクスペリエンス行動学		24	1				24
	ペット健康管理学				13	13	1	26
	トリマー概論				26	39	4	65
	ペット飼育管理学		28	1				28
	しつけ行動学	26	14	2				40
	ペットサロン概論＆商品知識	30	12	2				42
専門教養計		116	120	11	52	65	6	353
専門演習	PEIAブロンズ演習				78		5	78
	PEIAシルバー演習					84	5	84
	サマートレーニング		18	1				18
専門演習計		0	18	1	78	84	10	180
専門実習	グルーミング実習	246	264	17				510
	グルーミング実習2				252	264	17	516
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		246	264	17	252	414	22	1176
専門合計(A)		362	402	29	382	563	38	1709
ビジネス教養	パソコン	26		1				26
	ビジネストレーニング		15	1				15
	就職ガイド2				19		1	19
	自己理解＆就職ガイド	13	12	1				25
	コミュニケーション	14	14	1	13	13	1	54
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		53	41	4	32	13	2	139
総合計(A＋B)		415	443	33	414	576	40	1848
		858			990			
		合計単位数				73		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　ドッグトレーナーコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	ドッグトレーナーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	15	15	2				30
	イヌの行動学				15	15	2	30
	ドッグブリーディング	15	15	2				30
	愛犬飼育管理論	15	15	2				30
	ペットフード＆業界概論				30	45	5	75
	ペット健康管理学	15	15	2				30
	専門教養計	60	60	8	45	60	7	225
専門演習	ドッグプレイニング	78	84	10				162
	D.I.N.G.O.(ADICT-1)		18	1				18
	ドッグスポーツ				90	90	12	180
	ドッグトレーニング演習1				90		6	90
	ドッグトレーニング演習2				90		6	90
	選択演習(インストラクター専攻・訓練専攻)					180	12	180
	専門演習計	78	102	11	270	270	36	720
専門実習	グルーミング実習	78	90	5				168
	ドッグトレーニング	78	78	5				156
	訓練実習	84	84	5				168
	PDマネジメント				90	90	6	180
	業界インターンシップ					150	5	150
	専門実習計	240	252	15	90	240	11	822
	専門合計(A)	378	414	34	405	570	54	1767
ビジネス教養	ビジネストレーニング		18	1				18
	就職ガイド2				21		1	21
	自己理解＆就職ガイド	15	15	2				30
	コミュニケーション	13	13	1	15	15	2	56
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	28	46	4	36	15	3	125
総合計(A＋B)		406	460	38	441	585	57	1892
		866			1026			
		合計単位数				95		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　ドッグトレーナーコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	ドッグトレーナーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	13	15	1				28
	イヌの行動学				14	14	1	28
	ドッグブリーディング	13	15	1				28
	ペット飼養管理学	13	15	1				28
	ペットフード＆業界概論				28	42	4	70
	ペット健康管理学	13	15	1				28
専門教養計		52	60	4	42	56	5	210
専門演習	ドッグプレイニング	45	84	8				129
	D.I.N.G.O.(ADICT-1)		18	1				18
	ドッグコミュニケーション				78	90	11	168
	ドッグトレーニング演習1				78		5	78
	ドッグトレーニング演習2				90		6	90
	選択演習(インストラクター専攻・訓練専攻)					174	11	174
専門演習計		45	102	9	246	264	33	657
専門実習	グルーミング実習	84	84	5				168
	ドッグトレーニング	78	72	5				150
	訓練実習	84	90	5				174
	PDマネジメント				78	78	5	156
	ケネル実習	45		1				45
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		291	246	16	78	228	10	843
専門合計(A)		388	408	29	366	548	48	1710
ビジネス教養	パソコン				28		1	28
	ビジネストレーニング		18	1				18
	就職ガイド2				20		1	20
	自己理解＆就職ガイド	13	15	1				28
	コミュニケーション	13	12	1	14	14	1	53
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		26	45	3	62	14	3	147
総合計(A＋B)		414	453	32	428	562	51	1857
		867			990			
		合計単位数				83		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　動物飼育コース　　1時限＝50分

分野	授業科目名		動物飼育コース						時間数
			1年			2年			
			前期	後期		前期	後期		
			時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学		14	14	1				28
	ネコ学		14	14	1				28
	愛玩動物飼養管理論		28	30	3				58
	野生動物学		26	30	3				56
	水生生物学		26	30	3				56
	小動物学		39	39	5				78
	小動物学2					28	30	3	58
	ドッグブリーディング					26		1	26
	ペットフード＆用品概論					28		1	28
	ペット健康管理学					14	14	1	28
	ペット業界論					14	14	1	28
専門教養計			147	157	16	110	58	7	472
専門演習	選択ゼミ	野生動物ゼミ					42	2	42
		水生生物ゼミ							
		小動物ゼミ							
	専門科目	テーマパーク演習＆ペットパティシエ				78	78	10	156
		ペット栄養管理士					45	3	45
		動物演習	39	42	5				81
		動物演習2				39	45	5	84
		猫演習		42	2				42
専門演習計			39	84	7	117	210	20	450
専門実習	動物管理実習		78	81	5				159
	動物管理実習2					56	60	3	116
	PDケア＆トレーニング		90	90	6				180
	グルーミング実習					78		2	78
	選択実習(グルーミングor乗馬トレーニング)						78	2	78
	業界インターンシップ						150	5	150
専門実習計			168	171	11	134	288	12	761
専門合計(A)			354	412	34	361	556	39	1683
ビジネス教養	パソコン		28		1				28
	ビジネストレーニング		16		1				16
	就職ガイド2					20		1	20
	自己理解＆就職ガイド		13	14	1				27
	コミュニケーション		13	13	1	14	14	1	54
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)			70	27	4	34	14	2	145
総合計(A＋B)			424	439	38	395	570	41	1828
			863			965			
			合計単位数				79		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　昼間　動物飼育コース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	動物飼育コース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	14	15	1				29
	ネコ学	14	15	1				29
	愛玩動物飼養管理論	28	14	2				42
	野生動物学	28	28	3				56
	水生生物学	28	28	3				56
	ペットフード＆用品概論				28		1	28
	ペット健康管理学				14	14	1	28
	ペット業界論				14	14	1	28
専門教養計		112	100	10	56	28	3	296
専門演習	選択ゼミ　野生動物ゼミ					42	2	42
	選択ゼミ　水生生物ゼミ							
	選択ゼミ　小動物ゼミ							
	専門科目　テーマパーク演習＆ペットパティシエ				78	78	10	156
	専門科目　ペット栄養管理士					45	3	45
	専門科目　動物演習	90	84	11				174
	専門科目　動物演習2				65	45	7	110
	専門科目　猫演習		42	2				42
専門演習計		90	126	13	143	210	22	569
専門実習	動物管理実習	78	72	5				150
	動物管理実習2				90	90	6	180
	PDケア＆トレーニング	78	90	5				168
	グルーミング実習				78		2	78
	選択実習(グルーミングor乗馬トレーニング)					78	2	78
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		156	162	10	168	318	15	804
専門合計(A)		358	388	33	367	556	40	1669
ビジネス教養	パソコン	28		1				28
	ビジネストレーニング	17		1				17
	就職ガイド2				20		1	20
	自己理解＆就職ガイド	14	14	1				28
	コミュニケーション	13	12	1	14	14	1	53
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		72	26	4	34	14	2	146
総合計(A＋B)		430	414	37	401	570	42	1815
		844			971			
		合計単位数				79		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化･教養専門課程　動物管理科　昼間　キャットプロコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	キャットプロコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	13	14	1				27
	ネコ学	26	33	3				59
	ネコ学2				28	14	2	42
	ネコの繁殖学				14	14	1	28
	基礎看護学	26		1				26
	キャットショー研究				28	28	3	56
	ペット健康管理学					28	1	28
	ネコの行動学	13	14	1				27
	愛玩動物飼養管理論	28	28	3				56
	栄養学				14	15	1	29
専門教養計		106	89	9	84	99	8	378
専門実習	動物管理実習	78	90	5				168
	グルーミング実習	78	78	5				156
	グルーミング実習2				168	174	11	342
	キャットグルーミング	90	90	6	56	60	3	296
	キャットグルーミング2				78	84	5	162
	ドッグトレーニング	42		1				42
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		288	258	17	302	468	24	1316
専門合計(A)		394	347	26	386	567	32	1694
ビジネス教養	パソコン		28	1				28
	ビジネストレーニング		17	1				17
	就職ガイド2				20		1	20
	自己理解＆就職ガイド	14	14	1				28
	コミュニケーション	13	14	1	14	15	1	56
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		27	73	4	34	15	2	149
総合計(A＋B)		421	420	30	420	582	34	1843
		841			1002			
		合計単位数				64		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化･教養専門課程　動物管理科　昼間　キャットプロコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	キャットプロコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	15	14	1				29
	ネコ学	30	33	4				63
	ネコ学2				26	13	2	39
	ネコの繁殖学				15	13	1	28
	基礎看護学	30		2				30
	キャットショー研究				30	30	4	60
	ペット健康管理学					30	2	30
	ネコの行動学	15	14	1				29
	愛玩動物飼養管理論	28	30	3				58
	栄養学				15	15	2	30
	専門教養計	118	91	11	86	101	11	396
専門実習	動物管理実習	84	84	5				168
	グルーミング実習	78	72	5				150
	グルーミング実習2				156	174	11	330
	キャットグルーミング	78	90	5	52	52	3	272
	キャットグルーミング2				84	84	5	168
	ドッグトレーニング	42		1				42
	業界インターンシップ					150	5	150
	専門実習計	282	246	16	292	460	24	1280
	専門合計(A)	400	337	27	378	561	35	1676
ビジネス教養	パソコン		30	2				30
	ビジネストレーニング		18	1				18
	就職ガイド2				21		1	21
	自己理解＆就職ガイド	14	15	1				29
	コミュニケーション	15	14	1	15	15	2	59
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	29	77	5	36	15	3	157
総合計(A＋B)		429	414	32	414	576	38	1833
		843			990			
		合計単位数				70		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化･教養専門課程　動物管理科　昼間　ホースプロコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	ホースプロコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	騎乗理論	42	42	5				84
	騎乗理論2				41	29	4	70
	ホーステーピング				13	15	1	28
	馬の獣医学	13	14	1				27
	指導者理論	13	28	2				41
専門教養計		68	84	8	54	44	5	250
専門実習	動物管理実習	97	84	6				181
	動物管理実習2				121	103	7	224
	騎乗トレーニング	220	224	14				444
	騎乗トレーニング2				216	176	13	392
	指導者トレーニング					84	2	84
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		317	308	20	337	513	27	1475
専門合計(A)		385	392	28	391	557	32	1725
ビジネス教養	パソコン		30	2				30
	ビジネストレーニング	16		1				16
	就職ガイド2				19		1	19
	自己理解&就職ガイド	13	15	1				28
	コミュニケーション	13	14	1	13	15	1	55
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		42	59	5	32	15	2	148
総合計(A＋B)		427	451	33	423	572	34	1873
		878			995			
		合計単位数				67		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化･教養専門課程　動物管理科　昼間　ホースプロコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	ホースプロコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	騎乗理論	40	42	5				82
	騎乗理論2				42	29	4	71
	ホーステーピング				26	30	3	56
	馬の獣医学	15	14	1				29
	指導者理論	15	14	1				29
専門教養計		70	70	7	68	59	7	267
専門実習	動物管理実習	95	98	6				193
	動物管理実習2				123	100	7	223
	騎乗トレーニング	220	176	13				396
	選択演習(騎乗専攻、厩務員専攻)				220	172	13	392
	指導者トレーニング					91	3	91
	業界インターンシップ					150	5	150
専門実習計		315	274	19	343	513	28	1445
専門合計(A)		385	344	26	411	572	35	1712
ビジネス教養	パソコン		28	1				28
	ビジネストレーニング	17		1				17
	就職ガイド2				19		1	19
	自己理解&就職ガイド	14	14	1				28
	ホースタイム		48	3				48
	コミュニケーション	14	14	1	13	14	1	55
ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)		45	104	7	32	14	2	195
総合計(A+B)		430	448	33	443	586	37	1907
		878			1029			
		合計単位数				70		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　植物管理科　昼間　フラワーデザインコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	フラワーデザインコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	花色彩学	26	28	3				54
	フラワー商品知識＆フラワービジネス				39		2	39
	専門教養計	26	28	3	39	0	2	93
専門演習	フラワー管理	15		1				15
	フラワーショップビジネス	104	116	14				220
	フラワーショップビジネス2				52	60	7	112
	植物造形理論					162	10	162
	いけばな		42	2				42
	フラワー装飾技能士対策	39		2	39		2	78
	専門演習計	158	158	19	91	222	19	629
専門実習	JIFD実習	90	90	6				180
	JIFD実習2				84	84	5	168
	フラワークラフト	39		1				39
	アーティフィシャルフラワー		42	1				42
	フューネラル専科					45	1	45
	ブライダル専科				90		3	90
	フローリスト実践					45	1	45
	ガーデン栽培実習2				78		2	78
	ガーデン栽培実習	84	78	5				162
	業界インターンシップ					150	5	150
	専門実習計	213	210	13	252	324	17	999
	専門合計(A)	397	396	35	382	546	38	1721
ビジネス教養	パソコン					28	1	28
	ビジネストレーニング		17	1				17
	就職ガイド2				16		1	16
	自己理解＆就職ガイド	13	14	1				27
	コミュニケーション	13	14	1	13	15	1	55
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	26	45	3	29	43	3	143
	総合計(A＋B)	423	441	38	411	589	41	1864
		864			1000			
		合計単位数				79		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　植物管理科　昼間　フラワーデザインコース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	フラワーデザインコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	花色彩学	28	28	3				56
	ブライダルフラワー学		28	1				28
	フラワー商品知識＆フラワービジネス（JFMAｵﾝﾗｲﾝ講習含む）				39		2	39
	専門教養計	28	56	4	39	0	2	123
専門演習	フラワー管理	15		1				15
	フラワーショップビジネス	108	116	14				224
	フラワーショップビジネス2				52	60	7	112
	植物造形理論					162	10	162
	いけばな	42		2				42
	フラワー装飾技能士対策				39		2	39
	専門演習計	165	116	17	91	222	19	594
専門実習	JIFD実習	78	90	5				168
	JIFD実習2				84	84	5	168
	フラワークラフト	45		1				45
	アーティフィシャルフラワー		42	1				42
	フューネラル専科					45	1	45
	ブライダル専科				90		3	90
	フローリスト実践					45	1	45
	ガーデン栽培実習2				78		2	78
	ガーデン栽培実習	84	72	5				156
	業界インターンシップ					150	5	150
	専門実習計	207	204	12	252	324	17	987
	専門合計（A）	400	376	33	382	546	38	1704
ビジネス教養	パソコン					30	2	30
	ビジネストレーニング		17	1				17
	就職ガイド2				16		1	16
	自己理解＆就職ガイド	14	15	1				29
	コミュニケーション	13	15	1	13	15	1	56
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計（B）	27	47	3	29	45	4	148
	総合計（A＋B）	427	423	36	411	591	42	1852
		850			1002			
		合計単位数				78		

学校整理番号(115)

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　夜間　トリマーコース　　1時限＝45分

分野	授業科目名	トリマーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	30	30	4				60
	ペットサロン概論				28	28	3	56
	専門教養計	30	30	4	28	28	3	116
専門演習	PEIAブロンズ＆シルバー演習				42	42	5	84
	専門演習計	0	0	0	42	42	5	84
専門実習	グルーミング実習	199	211	13				410
	グルーミング実習2				168	168	11	336
	専門実習計	199	211	13	168	168	11	746
	専門合計(A)	229	241	17	238	238	19	946
ビジネス教養	自己理解＆就職ガイド	15	15	2				30
	就職ガイド2/コミュニケーション				14	14	1	28
	コミュニケーション	13	13	1				26
	ビジネス教養合計(B)	28	28	3	14	14	1	84
総合計(A＋B)		257	269	20	252	252	20	1030
		526			504			
		合計単位数				40		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物管理科　夜間　トリマーコース　　1時限＝45分

分野	授業科目名	トリマーコース						時間数
		1年			2年			
		前期	後期		前期	後期		
		時間	時間	単位	時間	時間	単位	
専門教養	犬学	26	30	3				56
	ペットサロン概論				30	30	4	60
	専門教養計	26	30	3	30	30	4	116
専門演習	PEIAブロンズ＆シルバー演習				39	39	5	78
	専門演習計	0	0	0	39	39	5	78
専門実習	グルーミング実習	211	208	13				419
	グルーミング実習2				160	172	11	332
	専門実習計	211	208	13	160	172	11	751
	専門合計(A)	237	238	16	229	241	20	945
ビジネス教養	自己理解＆就職ガイド	13	15	1				28
	就職ガイド2				15		1	15
	コミュニケーション	13	12	1		15	1	40
	ビジネス教養合計(B)	26	27	2	15	15	2	83
総合計(A＋B)		263	265	18	244	256	22	1028
		528			500			
		合計単位数				40		

令和7年度4月以降入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物看護科　昼間　動物看護コース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	動物看護 単位数 1年 前期 時間	1年 後期 時間	1年 単位	2年 前期 時間	2年 後期 時間	2年 単位	3年 前期 時間	3年 後期 時間	3年 単位	時間数（科目別）
専門教養	生命倫理・動物福祉				15	15	2				30
	動物形態機能学	30	15	3	30	15	3	15	15	2	120
	動物繁殖学							15	15	2	30
	動物行動学	15	15	2							30
	動物栄養学	15	15	2	15	15	2				60
	産業動物学					15	1	15	15	2	45
	実験動物学					15	1				15
	野生動物学				15		1				15
	動物医療関連法規							15	15	2	30
	動物看護学概論	15		1							15
	看護実践学		15	1							15
	動物病理学				15	15	2				30
	動物薬理学				15	15	2	15	15	2	60
	動物感染症学	15	15	2	15	15	2	15	15	2	90
	公衆衛生学				15	15	2	15	15	2	60
	動物内科看護学	15	15	2							30
	動物臨床検査学				30	30	4				60
	動物入院管理				15	15	2				30
	救急救命対応								15	1	15
	外科動物看護学								15	1	15
	動物臨床看護学総論	15	15	2							30
	動物臨床看護学各論				15	15	2				30
	動物疾病看護学				15	15	2	30	30	4	90
	幼齢老齢動物管理							15	15	2	30
	犬学	15		1							15
	猫学		15	1							15
	小動物学	15	15	2							30
	人間動物関係学	15	15	2							30
	動物生活環境学							15	15	2	30
	ペット関連産業概論		30	2							30
	専門教養計	165	180	23	210	210	28	165	195	24	1125
専門演習	動物医療コミュニケーション				30		2				30
	適正飼養指導論							30	30	4	60
	老齢動物臨床検査学							15	15	2	30
	老齢動物管理演習							36	36	4	72
	専門演習計	0	0	0	30	0	2	81	81	10	192
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ（+後期VAC実習9h）	78	93	5							171
	グルーミング実習/飼育管理実習	78	90	5							168
	グルーミング実習				90	90	6				180
	ドッグトレーニング実習	39	42	2							81
	動物臨床看護実習Ⅱ（+後期VAC実習3h）				72	75	4				147
	動物臨床看護実習Ⅲ							72	72	4	144
	動物看護総合実習								180	6	180
	専門実習計	195	225	12	162	165	10	72	252	10	1071
	専門合計(A)	360	405	35	402	375	40	318	528	44	2388
ビジネス教養	コミュニケーション	13	13	1	15	15	2	15	15	2	86
	自己理解+総合実習事前学習	26	13	2							39
	就職ガイド					15	1	21		1	36
	ビジネストレーニング/パソコン				30	30	4				60
	国試対策	13	13	1				15	15	2	56
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	52	39	4	45	60	7	51	30	5	277
	総合計(A+B)	412	444	39	447	435	47	369	558	49	2665
		856			882			927			
		合計単位数							135		

学校整理番号(115)

令和6年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程　動物看護科　昼間　動物看護コース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	動物看護 単位数 1年 前期 時間	1年 後期 時間	1年 単位	2年 前期 時間	2年 後期 時間	2年 単位	3年 前期 時間	3年 後期 時間	3年 単位	時間数（科目別）
専門教養	生命倫理・動物福祉				15	15	2				30
	動物形態機能学	30	15	3	30	15	3	15	15	2	120
	動物繁殖学							15	15	2	30
	動物行動学	15	15	2							30
	動物栄養学	15	15	2	15	15	2				60
	産業動物学					15	1	15		1	30
	実験動物学								15	1	15
	野生動物学				14	15	1				29
	動物医療関連法規							15	15	2	30
	動物看護学概論	15		1							15
	看護実践学		15	1							15
	動物病理学				15	15	2				30
	動物薬理学				15	15	2	15	15	2	60
	動物感染症学	15	15	2	15	15	2	15	15	2	90
	公衆衛生学				15	15	2	15	15	2	60
	動物内科看護学	15	15	2							30
	動物臨床検査学				30	30	4				60
	動物入院管理				15	15	2				30
	救急救命対応								15	1	15
	外科動物看護学								15	1	15
	動物臨床看護学総論	15	15	2							30
	動物臨床看護学各論				13	15	1	13	13	1	54
	動物疾病看護学				13	13	1	26	26	3	78
	犬学	15		1							15
	猫学		15	1							15
	小動物学	15	15	2							30
	人間動物関係学	15	15	2							30
	動物生活環境学							15	15	2	30
	ペット関連産業概論		30	2							30
	専門教養計	165	180	23	205	208	25	159	189	22	1106
専門演習	動物医療コミュニケーション				26		1	30		2	56
	適正飼養指導論							30	30	4	60
	老齢動物臨床検査学							15	15	2	30
	老齢動物管理演習							36	36	4	72
	専門演習計	0	0	0	26	0	1	111	81	12	218
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ(＋後期VAC実習9h)	75	90	5							165
	グルーミング実習/飼育管理実習	84	84	5							168
	グルーミング実習				65	84	4				149
	ドッグトレーニング実習	42	45	2							87
	動物臨床看護実習Ⅱ(＋後期VAC実習3h)				78	78	5				156
	動物臨床看護実習Ⅲ							72	72	4	144
	動物看護総合実習								180	6	180
	専門実習計	201	219	12	143	162	9	72	252	10	1049
	専門合計(A)	366	399	35	374	370	35	342	522	44	2373
ビジネス教養	コミュニケーション	13	12	1	13	14	1	15	15	2	82
	自己理解＋総合実習事前学習	26	12	2							38
	就職ガイド					15	1	15		1	30
	ビジネストレーニング／パソコン				26	26	3				52
	総合学習解説							15	15	2	30
	基礎学習	14	14	1							28
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	53	38	4	39	55	5	45	30	5	260
	総合計(A＋B)	419	437	39	413	425	40	387	552	49	2633
		856			838			939			
		合計単位数							128		

学校整理番号(115)

令和5年度4月入学者

教育課程および授業時間数

文化・教養専門課程 動物看護科 昼間 動物看護コース　　1時限＝50分

分野	授業科目名	動物看護コース 単位数 1年 前期 時間	1年 後期 時間	1年 単位	2年 前期 時間	2年 後期 時間	2年 単位	3年 前期 時間	3年 後期 時間	3年 単位	時間数(科目別)
専門教養	生命倫理・動物福祉				15	15	2				30
	動物形態機能学	29	16	3	30	15	3	15	15	2	120
	動物繁殖学							14	16	2	30
	動物行動学	15	15	2							30
	動物栄養学	15	15	2	15	15	2				60
	産業動物学					15	1	15		1	30
	実験動物学								15	1	15
	野生動物学				15	15	2				30
	動物医療関連法規							15	15	2	30
	動物看護学概論	15		1							15
	看護実践学		15	1							15
	動物病理学				15	15	2				30
	動物薬理学				15	15	2	15	15	2	60
	動物感染症学	15	15	2	15	15	2	15	15	2	90
	公衆衛生学				15	15	2	15	15	2	60
	動物内科看護学	15	15	2							30
	動物臨床検査学				30	30	4				60
	動物入院管理				15	15	2				30
	救急救命対応								15	1	15
	外科動物看護学								15	1	15
	動物臨床看護学総論	14	16	2							30
	動物臨床看護学各論				15	15	2		15	1	45
	動物疾病看護学				15	15	2	26	26	3	82
	幼齢老齢動物管理							15		1	15
	犬学	15		1							15
	猫学		15	1							15
	小動物学	15	15	2							30
	人間動物関係学	15	15	2							30
	動物生活環境学							15	15	2	30
	ペット関連産業概論		30	2							30
	専門教養計	163	182	23	210	210	28	160	192	23	1117
専門演習	動物医療コミュニケーション				30		2	27		1	57
	適正飼養指導論							30	30	4	60
	老齢動物臨床検査学							15	15	2	30
	老齢動物管理演習							39	42	5	81
	専門演習計	0	0	0	30	0	2	111	87	12	228
専門実習	動物臨床看護実習Ⅰ(+後期VAC実習9h)	78	93	5							171
	グルーミング実習/飼育管理実習	78	90	5							168
	グルーミング実習				78	84	5				162
	ドッグトレーニング実習	39	39	2							78
	動物臨床看護実習Ⅱ(+後期VAC実習3h)				75	72	4				147
	動物臨床看護実習Ⅲ							78	84	5	162
	動物看護総合実習								180	6	180
	専門実習計	195	222	12	153	156	9	78	264	11	1068
	専門合計(A)	358	404	35	393	366	39	349	543	46	2413
ビジネス教養	コミュニケーション	14	14	1	14	14	1	13	14	1	83
	自己理解+総合実習事前学習	27	14	2							41
	就職ガイド					15	1	18		1	33
	パソコン／ビジネストレーニング				26	26	3				52
	国試対策							18	18	2	36
	基礎学習	14	14	1							28
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ教養合計(B)	55	42	4	40	55	5	49	32	4	273
	総合計(A+B)	413	446	39	433	421	44	398	575	50	2686
		859			854			973			
		合計単位数							133		

客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料

■成績評価方法

・各学年の学期毎（前期・後期）に行う。

・①出席率、②定期試験・小テスト、③平常点（提出物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行う。

・6 段階評価（A～F 評価）により行う。

■成績評価基準

・A 評価（優）・B 評価（良）・C 評価（可）・R 評価（認定）・Q 評価（再認定）・F 評価（不認定）

-Q 評価は F 評価で不認定となり再評価を行って認定されたものとする。

-各評価基準の詳細については、科目のシラバスで表記する。

■成績評価ポイント換算表

A 評価	B 評価	C 評価	R 評価	F 評価
4	3	2	1	0

（Q 評価は評価ポイントを付与しない）

【GPA 評価　計算式】

全科目合計 評価係数 ÷ 全科目合計 単位数 ＝ 成績評価係数（評定平均）

（小数点第3位を四捨五入する）

■令和 6 年度（2024 年度） 成績の分布

学生数に関しては年度途中での休学・退学を含む数となっており、令和 6 年度の年初在籍数とは異なる。

また、成績分布算出後も学生の休学・退学・復学があるため、令和 7 年 5 月 1 日現在の数とは相違がある。

学科名	動物管理科トリマーコース（昼間部）			学年	1 年	学生数	79 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	7 人	0 人	3 人	5 人	26 人	38 人	0 人
平均値 ： 2.62							
下位 1/4 に該当する人数 ： 15 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 2.45 以下			
備考							

学科名	動物管理科トリマーコース（夜間部）			学年	1 年	学生数	15 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	0 人	0 人	3 人	9 人	3 人	0 人	0 人
平均値 ： 2.15							
下位 1/4 に該当する人数 ： 3 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 1.75 以下			
備考							

学科名	動物管理科ドッグトレーナーコース			学年	1 年	学生数	44 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	3 人	1 人	2 人	4 人	7 人	22 人	5 人
平均値 ： 2.81							
下位 1/4 に該当する人数 ： 11 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 2.50 以下			
備考							

学科名	動物管理科動物飼育コース			学年	1 年	学生数	66 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	4 人	0 人	0 人	7 人	15 人	40 人	0 人
平均値 ： 2.55							
下位 1/4 に該当する人数 ： 12 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ：2.55 以下			
備考							

学科名	動物管理科キャットプロコース			学年	1 年	学生数	31 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	3 人	0 人	3 人	3 人	6 人	16 人	0 人
平均値 ： 2.60							
下位 1/4 に該当する人数 ：6 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 1.82 以下			
備考							

学科名	動物管理科ホースプロコース			学年	1 年	学生数	16 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	3 人	2 人	1 人	3 人	3 人	4 人	0 人
平均値 ： 2.01							
下位 1/4 に該当する人数 ： 4 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ：1.30 以下			
備考							

学科名	植物管理科フラワーデザインコース			学年	1 年	学生数	11 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	1 人	0 人	0 人	1 人	7 人	2 人	0 人

平均値 ： 2.49	
下位 1/4 に該当する人数 ： 2 人	下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 2.0 以下
備考	

学科名	動物看護科動物看護コース			学年	1 年	学生数	79 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	7 人	0 人	0 人	5 人	6 人	36 人	25 人
平均値 ： 2.99							
下位 1/4 に該当する人数 ： 18 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 2.94 以下			
備考							

学科名	動物看護科動物看護コース			学年	2 年	学生数	69 人
成績の分布							
成績評価係数	0～1.00	1.01～1.49	1.50～1.99	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00～3.49	3.50～4.00
人数	5 人	1 人	0 人	0 人	6 人	24 人	33 人
平均値 ： 3.14							
下位 1/4 に該当する人数 ： 17 人				下位 1/4 に該当する成績評価係数 ： 3.06 以下			
備考							

■卒業の要件

・該当年度の履修単位を取得すること。

「昼間部 2 年制」

1 年次 30 単位(800 時間)以上、卒業時に総単位数 62 単位(1,700 時間)以上を修得していること。

「昼間部 3 年制」

1・2 年次、30 単位(800 時間)以上、卒業時に総単位数 90 単位(2,400 時間)以上を修得していること。

「夜間部 2 年制」

1・2 年次、各 17 単位(450 時間)以上、卒業時に総単位数 34 単位(900 時間)以上を修得していること。

・卒業判定に関しては成績並びに出席状況を卒業判定会議等で確認し、卒業要件を満たした者を卒業と認める。

・卒業認定基準については学校ホームページにて公開している。

６－４.主要検定合格率（2024年度）

資格名	級	受験対象	2022年度	2023年度	2024年度
公益社団法人日本愛玩動物協会 愛玩動物飼養管理士	1級	希望者	83%	0%	100%
	2級	A1・C1・その他希望者	61%	58%	65%
全国キャットクラブ認定キャットマイスターベーシック		C1	100%	92%	95%
全国キャットクラブ認定キャットマイスターアドバンス		C2	100%	96%	85%
一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 愛犬飼育管理士		T1・D1	100%	98%	－
全国動物専門学校協会認定　サロントリマー検定	1級	T2・E2	84%	94%	96%
	2級	C2(2級もしくは3級の選択制)	85%	87%	76%
	3級	N2・C2(2級もしくは3級の選択制)	97%	100%	93%
動物看護師統一認定試験		N3	81%	81%	98%
JKCトリマーライセンス	C級	T2	95%	92%	93%
PEIAブロンズクラスライセンス		T2・E2	100%	100%	100%
PEIAシルバークラスライセンス		T2・E2	99%	100%	100%
D.I.N.G.O ADICT-1		D1	87%	100%	90%
優良家庭犬普及協会 マナーハンドラーテスト		D2	87%	100%	100%
ペットフード販売士		D2・A2	78%	80%	88%
JIFDフローラルデザイナー協会		F2	89%	83%	100%
FDAフラワーカラー検定		F1	100%	100%	100%
キネシオテーピング協会 CKTTサーティファイド・キネシオテーピング・トレーナー		H2	－	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査　３級		H1・H2	100%	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査 馬場２級		H1・H2	100%	100%	80%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査 馬場１級		H1・H2	100%	100%	100%
全国乗馬倶楽部振興協会 乗馬技能認定審査３級障害		H1・H2	100%	100%	100%

・N1 動物看護コース1年生
・N2 動物看護コース2年生
・N3 動物看護コース3年生
・T1 トリマーコース1年生
・T2 トリマーコース2年生
・D1 ドッグトレーナーコース1年生
・D2 ドッグトレーナーコース2年生
・A1 動物飼育コース1年生
・A2 動物飼育コース2年生
・C1 キャットプロコース1年生
・C2 キャットプロコース1年生
・H1 ホースプロコース1年生
・H2 ホースプロコース2年生
・F1 フラワーデザインコース1年生
・F2 フラワーデザインコース2年生
・E1 夜間部トリマーコース1年生
・E2 夜間部トリマーコース2年生

６－５.卒業後の進路

1.卒業後の進路状況

卒業年度	卒業者数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2022年度	249	240	233	93.6%	223	10	169	64	1	0	0
2023年度	291	283	276	94.8%	259	17	189	87	0	0	0
2024年度	291	281	277	95.2%	252	25	193	84	0	0	0

2.分野別内訳

		2022年度	構成比	2023年度	構成比	2024年度	構成比
関連分野	ショップ	59	25.3%	69	25.1%	56	20.2%
	サロン	40	17.2%	35	12.7%	44	15.9%
	動物病院	68	29.2%	82	29.8%	95	34.3%
	訓練所	4	1.7%	1	0.4%	1	0.4%
	しつけ教室	5	2.1%	11	4.0%	6	2.2%
	牧場	3	1.3%	5	1.8%	4	1.4%
	テーマパーク	5	2.1%	13	4.7%	2	0.7%
	ブリーダー	9	3.9%	10	3.6%	2	0.7%
	ホテル業	3	1.3%	5	1.8%	5	1.8%
	その他動物	18	7.7%	22	8.0%	30	10.8%
	フラワー関連	8	3.4%	5	1.8%	6	2.2%
分野外		11	4.7%	17	6.2%	26	9.4%
合　　計		233	100.0%	275	100.0%	277	100.0%

3.主な就職先（2021～2024年度/順不同）

イオンペット株式会社	株式会社ＡＨＢ	株式会社西武ペットケア
株式会社コジマ	株式会社Ａペット	株式会社ジョーカー
株式会社東葛ペット	有限会社ハッピーベル	ソプラ銀座株式会社
株式会社ペピカ	株式会社フローエンス	公益財団法人アイメイト協会
株式会社フロントベル	シェラトン･グランデ･トーキョーベイホテル	遠藤警察犬・家庭犬訓練所
ダクタリ動物病院	苅谷動物病院グループ	千葉seaside動物医療センター
市原・山口動物病院	海浜動物医療センター	東千葉動物医療センター
株式会社マザー牧場	那須興業株式会社	鴨川シーワールド
公益財団法人ハーモニィセンター	有限会社社台コーポレーション	ノーザンファーム
株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	株式会社日比谷花壇	株式会社花門フラワーゲート

６－６．教育課程編成委員会

１．教育課程編成委員会の委員名簿（2024 年度）

動物看護科　教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	①	芦澤 尚義	公益社団法人　千葉県獣医師会　事務局長	２年
2	③	藤村崇輔	千葉市獣医師会	２年
3	③	周藤 行則	浦安中央動物病院　院長	２年
4	③	山下 眞理子	一般社団法人 日本動物看護職協会 事務局長	2 年
5	③	鈴木 唯花	株式会社 アニマルメディカ	2 年
6	③	国光 あずさ	ダクタリ動物病院	２年
7		西村 壽	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　校長	２年
8		千葉　山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長	２年
9		青柳 紘枝	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　動物看護チームリーダー	２年
10		小園 達郎	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 就職室長	２年
11		鈴木 友子	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長付就職室	２年

動物管理科　教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	③	祖一 俊介	㈱AHB	２年
2	③	小林 正希	㈱コアゾン	２年
3	③	細田 信幸	講師	２年
4	①	上原 敏朗	一般社団法人　ジャパン　ケネル　クラブ　東京ブロック協議会会長	２年
5	③	松原 賢	マツハラプロジェクト	２年
6		千葉　山	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長	２年
7		鈴木 一弘	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業副本部長	２年
8		小園 達郎	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室長	２年
9		木村　光太	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　教務室長補佐	２年

植物管理科　教育課程編成委員

No.	構成	氏名	所属	任期
1	③	田中 信夫	株式会社はこねフローリスト　代表取締役社長	２年
2	③	安部 喜方	株式会社花門フラワーゲート　顧問	２年
3	③	鈴木 正人	有限会社大黒屋園芸　取締役	２年
4	①	松島 義幸	一般社団法人日本フローラルマーケティング協会　専務理事	２年

5	③	青井　加奈	株式会社レインボウ	２年
6		鈴木 一弘	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業副本部長	２年
7		津島 幸織	専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園フラワーデザインチームリーダー	２年

① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体・職能団体・地方公共団体の役職員
② 専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者
③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2024 年度　専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園
第１回　動物看護科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2024 年 9 月 11 日（水）

日時	2024 年 9 月 11 日(水)13：30～15：00	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /青柳	記録 /門馬
出席者	芦澤 尚義　　氏　（公益社団法人千葉県獣医師会） 藤村 崇輔　　氏　（千葉市獣医師会 ふじむら犬猫動物病院 院長） 鈴木 唯花　　氏　（株式会社アニマルメディカ） 山下 眞理子　氏　（一般社団法人　日本動物看護職協会　事務局長） 国光　あずさ　氏　（ダクタリ動物病院） 西村 壽　　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　校長） 千葉 山　　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長・副校長） 鈴木 一弘　　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業副本部長・教務室 室長） 小園 達郎　　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室　室長） 青柳 紘枝　　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　動物看護チームリーダー）				
欠席者	周藤 行則　　氏　（浦安中央動物病院　院長）				
議題	１．委員長挨拶 ２．組織確認 ３．現行カリキュラム及びライセンスについて ４．来年度以降のカリキュラムについての意見交換 ５．その他				
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題１．委員長挨拶 ○議題２．組織確認 ○議題３．現行カリキュラム及びライセンスについて説明 総合看護実習について 青柳より ・総合実習事前学習についての説明 ・動物看護総合実習で取り入れたほうが良いものはなにか ・各委員からの意見 「国光氏」-- 学生は現場のスタッフに話しかけづらいのか自分で指示をもらえない学生が多いと感じた				

本来、積極性はあるのに話しかけられなかったため積極性がないと評価してしまうことはもったいないと感じる
ので学生は積極性に話しかけていいと思う

「山下氏」--
ハングリーがない学生も増えている
将来の目的がない学生がいるなかで病院側にご迷惑をかけてしまったこともある
法律が変わったことにより、実習中に看護学生にどこまでやらせていいかわからない獣医師もいる
掃除しかやらせてもらえなかった→衛星管理をやらせてもらえたと捉えるなど、総合実習に行く意味をしっかり
伝えるべきである
また、実習内での携帯・SNS 使用の問題が発生した事例もある

「小園」--
総合実習評価表でも積極的にコミュニケーションをとれなかったなどのコメントが多い
就職については条件で選ぶことも多いが、何を軸に就職活動を行うのかは指導している
「鈴木氏」--
今の学生は福利厚生、新人指導、自分のメリットを考え病院を決めているが、将来の展望の具体性を持って
いる学生は少ない
何を学びたいか、何を知りたいかを事前に実習先に伝えることで病院側も対応しやすくなるのではないか

「西村」--
学校の対応としては実習前の心構えとコミュニケーションの取り方は必須で指導していくべきである

「藤村氏」--
何のために学んでいるかが明確になりやすいので、実習は早めに行っていただいたほうが良い
資格がない看護学生にどこまでやらせていいのかわからない
獣医学生も見学が基本だったので、空気感から学ぶことも大切ではないか

「山下氏」--
獣医学生実習は実習内でやってもよい内容を獣医師指導の元や動物福祉を考えた範囲で農水省がリストアッ
プしているが、看護学生の実習は内容の指定が関係省庁から出ていない
実際に動物を飼育したことがない学生もいるので、見学からの総合実習でも良いのではないか
総合実習の中で飼い主の気持ちと看護師の仕事の両方を学ぶことができる
以前勤めていた学校では学校の犬を実習先に預け、手術をしてもらう（有料）ことで保定や治療に携わることができるだけでなく、その両方の気持ちが学べたと感じている

「青柳」--
学校には飼い主様がいないため、飼い主様とのコミュニケーションは実習先での経験としても大きい。

「山下氏」--
動物は好きだが人間は苦手な学生も多い
動物業界と他業種では職業人への意識に大きな違いがある
他の業界では職業で生活していくという覚悟があるのだが、動物業界はボランティアがしたいという学生が多い
ので、動物だけが好きだけではいけないとしっかり指導したほうが良い

「千葉」--
動物看護コースへの志望理由に人が紐づいていることがない
優秀な学生や総合実習に意欲がある学生から早期に見学に行かせるなどの方法もある

	「国光氏」-- 飼い主様や獣医師に確認して現場でも積極的にいろんな場面には立ち会わせるようにしている 自身の経験から就職後のギャップで苦しんでほしくないので、実習は何ができるかではなく、自分が働いたときにどんな仕事をするのかに重きを置いたほうが良い また、実習前には受け答えや挨拶、自ら報告できるようになっていてほしい 実習の最後に一人ひとりにお礼を言う人もいればすっと帰る人もいるので始めと終わりは大切にして欲しい 「門馬」-- 実習先は一年次から学生に実習先の希望を聞いたほうが良いのか。 また、実習に出すのが不安な学生は実習前のテストや面談は必要か。 「山下氏」-- カリキュラムとしての実習になるので、学校からの紹介でよいのではないか 実習が不安な学生は実習中にできなかったことが自分の将来を考え直す機会にもなる ・次回 2024 年度第２回開催は 2025 年 3 月 10 日（月）を予定とする。 以上

2024 年度　専門学校ちば愛犬動物フラワー学園

第１回　動物管理科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2024 年 9 月 12 日(木)

日時	2024 年 9 月 12 日(木)10：00～11：30	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /鈴木	記録 /小松﨑
出席者	松原 賢　　氏　(マツハラプロジェクト　マネージャー) 小林 正希　氏　(株式会社 COREZON　代表取締役社長) 細田 信幸　氏　(特定非営利活動法人ホワイトスプレンダー) 上原 敏朗　氏　(一般社団法人ジャパンケネルクラブ 東京ブロック協議会会長／オブザーバー参加) 千葉 山　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長・副校長) 鈴木 一弘　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業副本部長・教務室 室長) 小園 達郎　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室　室長) 小松﨑 悠司　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 広報室　室長) 木村 光太　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　教務室　室長補佐)				
欠席者	祖一 俊介　　氏　(株式会社 AHB 営業本部 サービス事業部 部長)				
議題	１．委員長挨拶 ２．組織確認 ３．現行カリキュラム及びライセンスについて ４．来年度以降のカリキュラムについての意見交換 ５．その他				
議事録・経	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題１．委員長挨拶 ・専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 講師　細田信幸より開会の宣言				

過 要 領	○議題２．組織確認 ・委員会各メンバーの紹介を実施 ○議題３．現行カリキュラム及びライセンスについて説明 木村より 2024 年度のカリキュラム、学生状況、学園生活アンケートの結果（授業満足度のコースごとの傾向等） ライセンスについて説明 ・夜間部トリマーコースの資格取得について、昨今の学生状況を踏まえ解説 ・犬を飼育したことが無い学生も存在する中で、犬の扱い方を身につけるカリキュラムを導入していきたい 「細田氏」 ・犬の扱いについて未熟な学生が多いのは事実、犬にかかわるコースは長柄ドッグヒルズ(ケネル)で飼育管理実習を通し基礎を学ぶことが重要なのではないか 「松原氏」 ・ある学校では、新入社員が担当することの多い歯磨き教室やしつけ教室など、在学中に学生自ら企画、運営 を実施しており、経験を積ませることも重要と考える ・ペットサロンにおける事故もあり、犬の取り扱いは動物の命や咬傷など自身を守るためにも重要 ○議題４．来年度以降のカリキュラムについての意見交換 千葉より ドッグトレーナーコースの今後の展開について説明し審議した 「細田氏」 ・就職後も辞めずに継続的に活かせる技術や知識を身に付けることが重要で、現存のドッグトレーナーコース とは考え方を分離することが必要ではないか。 ・韓国の専門学校でも教鞭をとっているが、韓国ではドッグトレーナーは国家資格となっており技術は進んで いる ・外部イベントの企画や運営にかかわることで、様々な経験を得て自ら考え動くことが出来る、学生にとって 大きな成長に繋がる(企画のディレクションや準備段階を経て本番を運営することで成功体験を積む) 今後の動物業界の動向や求められる人材について 「小林氏」 ・動物の飼育頭数が減少しているなか高齢化も進み、ペット業界の歩みが変わることが予想される ・動物業界が潤うための教育内容を追求すべきと考える ・今後のテーマは、保護とブリーディングともいえる 「松原氏」 ・保護活動は世の中で需要はあるが、新規飼育者の減少を感じる。幼少期の犬とのかかわりが重要と捉えており、単純接触を増やす環境を創造している ・今後は保護活動とブリーディングに目を向けて取り組んでも良いのでは 「上原氏」 ・JKC でもブリーディングや保護活動にもっと寄与していいのではないかと考えている ○議題５．その他 ・千葉より 全国専修学校動物系教育協会（JAVSAE）について概要を説明 ・次回 2024 年度第２回開催は 2025 年 3 月 11 日（火）を予定とする。 以上

2024年度　専門学校ちば愛犬動物フラワー学園
第1回　植物管理科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2024年9月11日(水)

日時	2024年9月11日(水)10：00～11：30	場所	千葉キャンパス 1号館502教室	進行 /津島	記録 /小園

出席者	田中 信夫　氏　(株式会社はこねフローリスト　代表取締役社長) 安部 喜方　氏　(株式会社花門フラワーゲート　顧問) 鈴木 正人　氏　(有限会社大黒屋園芸　取締役) 松島 義幸　氏　(一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 専務理事) 青井 加奈　氏　(株式会社レインボウ 営業推進部 部長) ※オブザーバー参加 千葉　山　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 事業本部長・副校長) 鈴木 一弘　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室　室長) 槍崎　さやか　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　学務室　室長) 津島 幸織　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 学校職員、フラワーチームリーダー) 小園　達郎　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　就職室　室長)
欠席者	なし
議題	1．委員長挨拶 2．組織確認 3．現行カリキュラム及びライセンスについて 4．来年度以降のカリキュラムについての意見交換 5．その他
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題1．委員長挨拶 ・千葉より開会の宣言 ○議題2．組織確認 ・委員会各メンバーの紹介を実施 ○議題3．2024年度前期報告 ・鈴木・津島より2024年度の運営について、企業連携科目、学生状況、行事、ライセンスについて説明 ○議題4．2025年度以降のカリキュラムについて ・鈴木・津島より2024年度の運営について、学生状況、カリキュラム、行事、ライセンス、年間予定について説明をした ・新規授業、「フラワービジネス」に関する報告 ○議題4．カリキュラムについて、その他のご意見 ・前半から外部企業を入れても良かったのでは ・Sooon株式会社 黒山様の授業では実際にアプリ（Cap cut）を用いて展開した。 ・SNSの撮影においてGoProやドローンの使用が増えている ・国家資格にもなっているドローン操縦免許取得を目指すのも面白い ・各委員からの意見

	「鈴木正人氏」 ・フラワービジネスの授業について、マーケティングの話を短期間で行っても理解しづらいのではないか。 理想は通年でのカリキュラムとして確立すべきでは。 ・緑化に関するカリキュラムなどを作ってはどうか。 また、そこにドローン（国家資格取得）などの要素を入れてみては。男子学生募集の活性にも繋がるのではないか。 資格を持っていることで即戦力として就職しやすいのではないか。 ・広報的な観点では、授業用の動画でもサムネが重要でいかに魅力的に見せるかが大事。 「松島氏」 ・フラワービジネス講座の薄木先生の授業（「水揚げの管理と品質管理」）は、質と内容共に非常に良かった 「田中氏」 ・専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園の強みはやはり長柄ドックヒルズのガーデンにあるのではないか。 この強みを募集にもぜひいかしてみてはどうか。 ・緑化ビジネスの普及も増え、現在需要が高まってきている。 「安部氏」 ・現場見学も兼ねて、植物管理科の委員会は実施に現場である長柄での開催を検討したらどうか。 ・フラワービジネスの授業について、SNS の運用やマーケティングの基本などを導入したことは、 今の業界を考えると望ましい。（大学生の採用もあるが専門学生は即戦力となるのでこのような指導は大切） ・時代の変化に伴い、授業も変えていくべき。AI 活用もうまく取り入れてみるのが良い。 ・花業界の「※well blooming project」についても授業で取り入れてみてはどうか。 ※「サステナブル」と「ウェルビーイング」の 2 つを柱とする花業界の SDGs 活動 「青井氏」 初めて参加させていただき、学校の新しい分野での未来が開けていくと感じた。生花に勝るものはない、生花は人を感動させる。そこはベースとして持っていて欲しいと思う。 ・次回 2024 年度の第 2 回開催は 2025 年 3 月 10 日（月）を予定とする。 以上

2024 年度　専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園

第 2 回　動物看護科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 3 月 10 日（月）

日時	2025 年 3 月 10 日(月)13：30～15：00	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /青柳	記録 /門馬
出席者	藤村 崇輔　　氏　（千葉市獣医師会 ふじむら犬猫動物病院 院長） 鈴木 唯花　　氏　（株式会社アニマルメディカ） 山下 眞理子　氏　（一般社団法人　日本動物看護職協会　事務局長） 国光　あずさ　氏　（ダクタリ動物病院） 西村 壽　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　校長） 千葉 山　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長・副校長） 鈴木 友子　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室） 植田　慎司　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　広報室） 小園 達郎　（専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室　室長） 青柳 紘枝　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　動物看護チームリーダー）				

欠席者	周藤 行則　　氏　（浦安中央動物病院　院長） 芦澤 尚義　　氏　（公益社団法人千葉県獣医師会）
議題	１．委員長挨拶 ２．組織確認 ３．2024 年度報告 ４．2025 年度運営について ５．カリキュラムについてのご意見 ６．その他
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題１．委員長挨拶 ○議題２．組織確認 ○議題３．現行カリキュラム及びライセンスについて説明 ・専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園事業本部長・千葉より 2024 年度の運営および 2025 年度の運営（重点方針、組織、学生状況、年間予定、教育課程表、ライセンス、行事、入学案内ツール）について説明した。 →看護実習室機器入替、DS 校舎建て替え、2025 年度動物看護科入学者定員達成等 ○議題 4．カリキュラムについて、その他のご意見 ・動物看護総合実習評価表について 国光氏：保定など全ての病院ができない内容があるのでコメントがなかったら学生がマイナスの捉え方をして しまうのではないか。病院実習で終了報告や相談ができない学生が目立つため、言われたことがしっかりできたかの項目で報告、相談ができたかというのも取りいれてほしい。 山下氏：授業の履修状況を書面にいれて病院に把握してもらうのはどうか。学生が自分たちでチェックなどを いれることにより、カリキュラムの理解度を自覚させることができる。個人で振り替えさせることも大切 ではないか。 藤村氏：具体的にコメントしやすい評価欄をつくると均一に学校側も病院に対して評価できる。 またはチェック項目を増やしてコメントをしやすい欄を作るのはどうか。 鈴木氏：評価表は評価する側からすると適切な量ではある。もっと細かい学校もあればもっと簡易的な学校も ある。評価欄に注意書きとして学校での授業の進捗の記載があれば分かりやすい。 また、評価表が紙媒体でくることが多いがデータで欲しい。病院ごとにデータか紙かのアンケートを とるのはどうか。 小園：データで送ることは可能。現在は紙媒体を求む病院が多い。 国光氏：ちば愛犬の学生はかならずリクルートスーツを着てくる。他校は全員私服なので、学校の教育として は良いと思う。 小園：私服だと気持ち的にプライベートの延長で実習にいってしまうことがあるため、服装で自分の気持

	ちを律し 　　てほしいという意味からも必ずスーツでいくことを指導している。実習中に病院から私服でもいいという 　　お言葉があれば2日から私服でいかせてもらっている。 ・その他 青柳：他校と比べて自校に教育で取り入れてほしいもの、教育の差など感じることはあるか。 山下氏：講師・教員がシラバスにのっとって授業を行うことが学生にも良い影響がある。 　　自分の最新の知識も大事だが、教科書の内容に沿って授業運営をしてもらうことが大切である。 　　また、愛玩動物看護師として観察力、注意力を身に着けるために、総合実習後に病気に関してのレポートを書かせてその後看護に対しての事例展開する授業はどうか。 　　看護学各論の座学授業に交えて看護師の指導の下実施してみてはどうか。 千葉：国家資格成立に向けての準備の中で臨床実習の臨み方、現場の受け入れ方という視点で同様の議論はあった。受け入れ学生がどの程度学んでいるのかを可視化することは大切である。まずは各期終了時や進級時のスタート時に学生自身に教育課程表をチェックしてもらい、何を今まで修了できているのか自覚させることは可能と考える。ぜひ試験的に実施したい。 ・次回2025年度第1回開催は2025年9月10日（水）を予定とする。 以上

2024年度　専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園
第２回　動物管理科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2025年3月11日(火)

日時	2025年3月11日(火)10：00～11：30	場所	千葉キャンパス 1号館502教室	進行 /鈴木	記録 /福島
出席者	松原 賢　　氏　(マツハラプロジェクト　マネージャー) 小林 正希　氏　(株式会社COREZON　代表取締役社長) 細田 信幸　氏　(特定非営利活動法人ホワイトスプレンダー) 千葉 山　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業本部長・副校長) 鈴木 一弘　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　事業副本部長・教務室 室長) 小園 達郎　　(専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園　就職室　室長) 木村 光太　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　教務室　室長補佐) 福島 詩菜　　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　教務室　ドッグチームリーダー)				
欠席者	祖一 俊介　氏　(株式会社AHB 営業本部 サービス事業部 部長) 小松﨑 悠司　(専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 広報室　室長)				
議題	１．委員長挨拶 ２．組織確認 ３．2024年度報告 ４．2025年度運営について ５．カリキュラムについてのご意見 ６．その他				
議事録・経	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ・鈴木より開会の宣言 ○議題１．委員長挨拶				

過 要 領	・特定非営利活動法人ホワイトスプレンダー　細田信幸氏より開会の宣言 〇議題２．組織確認 〇議題３．2024 年度報告 千葉 ・学園運営状況について説明 ・教育課程編成の各委員の見直しを考えている ・入学者の重点数目標についての説明と今年度の学生数の想定を報告。 ２年連続で入学者数を達成できない時にその後も下がり続ける傾向があるので、油断せずに募集に取り組む。 ・施設の老朽化により各施設の設備に不具合が発生している状況があり、施設整備について順次対応中。 ・おゆみ野 DS 建て替え工事が 3 月中に終了し、小動物園の拡大と、座学教室を増やした建物が完成する。 ・長柄ケネルの飼育環境について動物愛護法に基づいた管理体制を進めていく。 ・各授業の教育課程表・シラバス・コマシラバスをデータ化することで、各授業の内容が把握しやすくなり授業 の充実化が出来るようになる。 ・ドッグチームから企業連携の要望がでたり、企業からの連携オファーがホースチームに合ったりと企業との 繋がりをもつことができた。 ・各チームの主体性を重視し、チームが考えたカリキュラムを行うことにより、スタッフの授業運営や学生募集 向上に繋げていく 木村 ・前回提案を受けたイベント企画とトリマーのトレーニング授業導入について報告 ・イベント会場出店の参画 AL カレッジの杉原氏よりイベント会場ブース出店の案内があった。 ドッグチーム準職員が学生と企画し、シミュレーションを事前に行い 4/20(日)に蘇我のイベント会場にブースを構えて企画運営の実施を行う。 細田氏 ・イベント当日までのディレクション時間を、もっと設けることは出来ないのか。 →今回の企画結果によって可能（木村） ・トリマー学生のトレーニング授業の導入について 数年前よりトリミング授業に重点を置いていたが、犬の扱い方が分からない学生が増えてきたため導入をした トリミング台上以外での犬の動きを観察させる。 25 年度より 1 年生の後期に週 3 コマで実施予定。 細田氏 ・犬を飼ったことがない学生へ向けるのであれば前期が良いのではないか →講師とカリキュラムの都合と、2 年次の就職活動前に導入をするカリキュラムになった ・実習は長柄 DH で行うことにより、犬が車で移動した先と、犬舎にいる（テリトリーにいる）時の様子の違いを知ることが出来る →入学前の学生を任意で長柄へ行かせて、犬舎を知る任意参加のイベントを行うのも効果的である（千葉） 鈴木 ・おゆみ野 DS 小動物園の拡大について説明 ・小動物園の拡大により、動物の行動展示までに至らなくても、環境エンリッチメントには繋がる 〇議題４．2025 年度以降のカリキュラムについて

・内容を確認した

〇議題 5. カリキュラムについてのご意見
鈴木
・業界で最近合ったトピックスを頂戴したい

松原氏
・ピースウィンズ・ジャパンが東京都西東京市の医療複合施設『LIFE MEDICAL CARE いずみ』内に『西東京ふれあい譲渡センター』を 1/18（土）に OPEN した。最寄り駅から少し歩く不便な立地にも関わらず
たくさんの来場があった。
・ネコの保護譲渡に関して興味のある方がたくさん来場していた。
2 月に保護ネコのイベントを開催したところ 200 人の来場があった。すぐに家族が決まるわけではないが興味のある方や関心のある方は多い。
・保護譲渡の関心はピークのような気もするが、学校施設の一部にスペースを設けてみてもいいのではないか。
・動物病院の開院を視野に入れて動いているが獣医師会や近隣の獣医から厳しい意見もあった。
一方、獣医師との繋がりも増えたため前向きに捉えている

小林氏
・産業構造の変化により、ペットショップでの生体販売が難しくなる。今後生体を迎え入れるのであればペットショップから購入し迎え入れるのではなく、ブリーダーから購入か保護譲渡で迎え入れるように変化を
するかもしれない。生体数の販売が下がるため、物販も販売数が下回るようになってきた。
動物病院の来院率は上がってきている

松原氏
・保護活動は野犬のみではなく、売れ残った犬(Ｂ級品)の譲渡活動を行うと、保護譲渡ビジネスとたたかれて
しまうこともある
→教育現場ではまだ動物事態を知らない学生にノウハウを教えることが優先になる。保護犬になってしまわないように自分たちが何をすべきかを伝えている（木村）

細田氏
・10 数年前にもこのような話を出したときに、「いくつもの団体と協力することが出来ない。」と言われてしまった。適した団体と付き合うようにしてみてはどうか。素人の方がボランティアをしている現状のため
知識や技術が足りていない。その部分に学校が学生たちと取り組んでみてはどうか。
→メディアの力の印象が強く入学してくる学生もいるため OC などでもネコの森さんと繋がっている
その他の団体と繋がることを視野に入れて引き続き探求していく(千葉)

松原氏
・茨城の認定 NPO 法人キドックスでは、引きこもりや不登校などで生きづらさを抱える子どもや青少年たちが、保護犬のお世話をしながら社会へ出る取り組みを活動している。

鈴木
・アニマルウェルネスが西から来ている。教務へ投げてもそれぞれの考え方があり膠着状態にある。
技術の授業も大切だが、教育現場でどのように教えていくのが良いのか。

松原氏
・ワンウェルフェアの考え方でいくと、『人間が健康で幸せであれば、その周りにいる動物も健康で幸せ、周囲の環境も良い状態にある』と言う考え方になるため、大きな目標にはなる。
学校にいる動物や食べている動物に対しては別の話として追及するのが良いのではないか。

福島
・専門学校を卒業する学生の採用ポイントについて意見をいただきたい。

鈴木
・保護犬を扱える技術が必要か。

松原氏
・現状スタッフは足りていないが、採用に関しては新人が入ったことにより先に入っていたスタッフと上手く
関りあえる柔軟さが必要ではないか。

小林氏
・AIK 職員へメールにて日本理学療法士協会様へ提出した提案書を送信し確認。
・保護活動とアニマルセラピー活動への世の中の関心。
・人間の健康とペットの健康に注目が集まっている。健康寿命が延びれば医療費の削減にもつながる
・組織化するために理学療法を導入しながら職業化し認定証の発行などを、大学のように専門学校も学内
ベンチャーとして進めてみてはどうか。最初は民間と組んで進めるのはどうか。

千葉
・保護団体も探求し続けているので、引き続き行う。
・ＮＰＯ法人 猫の森さんとの実績や、就職活動先として保護ネコを行っているインターンへ行く学生も増えて
いるため、保護イヌの方も視野を広げてみてもいいのではないか。

松原氏
・お年寄りの方が飼えずに保護動物になってしまうこともあるので、お年寄りへの譲渡が難しい。
一部では、お年寄りに保護動物を渡し生活共にしてもらうが、動物名義は保護団体のままで医療関係も
保護団体が請け負う永年譲渡がある万一の事態が発生した場合に保護団体が動物を引き取ることができる。
そこに学生たちの技術を活用することはできないか。

小林氏
・JAHA がイオンペットと連携している事例がある。今後は保護活動を始めるようだ。参加してみてはどうか。

鈴木
・災害時に学園を避難所として受け入れることについて意見を頂いた

松原氏
・徳田竜之介さんが熊本地震の時に九州動物学院をペット同伴避難先にして被災者とペットを助けた事例が
ある。
・国はペット同伴避難を推奨しているが、受け入れ先がないのが現状。
・受け入れ先として考えてみても良いかもしれない。

鈴木
・都内の専門学校では、大規模災害時に被災した飼い主とペットが共に避難生活を送ることができる
同伴避難場所を開設する協定が地域と締結されているところもある。
・AIK も同伴避難場所として受け入れていくことが可能か段階的に検証していく。

〇議題 6.その他
松原氏

	・JAHA の犬への読み聞かせプロジェクトがある。子どもたちが犬へ本を読み聞かせることで読書力や読書意欲が増すようにするお手伝い活動。子供向けのイベントとして学校でも行ってみるのはどうか。 ・次回 2025 年度第 1 回開催は 2025 年 9 月 10 日（水）を予定とする。 以上

2024 年度　専門学校ちば愛犬動物フラワー学園
第２回　植物管理科　教育課程編成委員会議事録

作成日：2025 年 3 月 10 日(月)

日時	2025 年 3 月 10 日(月)13：30〜15：00	場所	千葉キャンパス 1 号館 501 教室	進行 /津島	記録 /森田
出席者	田中 信夫　氏　（株式会社はこねフローリスト　代表取締役社長） 安部 喜方　氏　（株式会社花門フラワーゲート　顧問） 鈴木 正人　氏　（有限会社大黒屋園芸　取締役） 青井 加奈　氏　（株式会社レインボウ 営業推進部 部長）※オブザーバー参加 鈴木 一弘　　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 事業副本部長・教務室　室長） 津島 幸織　　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園 学校職員、フラワーチームリーダー） 森田　紗季　　（専門学校　ちば愛犬動物フラワー学園　広報室　リーダー）				
欠席者	松島 義幸　氏　（一般社団法人日本フローラルマーケティング協会 専務理事）				
議題	１．委員長挨拶 ２．組織確認 ３．2024 年度報告 ４．2025 年度運営について ５．カリキュラムについてのご意見 ６．その他				
議事録・経過要領	○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題１．委員長挨拶 ・鈴木より開会の宣言 ○議題２．組織確認 ・委員会各メンバーの紹介を実施 ○議題３．2024 年度報告 ・鈴木・津島より 2024 年度の運営について、学生状況、学園生活アンケート、ライセンス一覧、重点方針(総括)について説明。 ・津島より授業風景の紹介。 ○議題４．2025 年度運営について ・鈴木・津島より重点方針、学生状況、年間予定表、教育課程表、ライセンス一覧、行事一覧、入学案内ツールについて説明。 ○議題 4．カリキュラムについて、その他のご意見 ・フラワーショップリニューアル(オーダー制度)について 鈴木氏：飲食店の QR オーダー（アプリ）のような、価格・大きさ・色味等を変えて 3 種類くらいから選				

	択できるようなものが顧客も選びやすいのではないか。また、年配の方でスマホの操作が大変な方もいると思うので、電話注文などいくつかオーダーの種類があると良い。 田中氏：店舗がオフィス街にあるため、グリーンの取り扱いを強化、顧客への積極的な提案をしている。可能であれば母の日などの物日にお店をオープンできるとより多くのお客様に来店してもらえたり、オーダーの数も増やせるのではないか。 安部氏：個人の注文はネット注文が大多数。学校で取り入れたら需要があると思う。企業連携で売り上げを伸ば している企業も増えてきている。 青井氏：ホテル内のレストランからお花のオーダーが入ることが多々あるが、オーダー制がほとんど。用途・性別を細かく聞いて制作している。ネットオーダーのみにするとそれを使いこなせない世代の方も出てくる可能性がある。ネットオーダーとアナログ式と両方取り入れることで、地域に根ざしたショップになるのでは。顧客と直接やりとりすることでコミュニケーション力・提案力が身につけられる良さもある。 ・ドローン進捗 企業側と実習授業の連携について協議中。 鈴木氏：植物造形理論とドローンの授業を組み合わせることができるのはないか。 ・次回 2025 年度の第 1 回開催は 2025 年 9 月 11 日（木）於　長柄ドッグヒルズを予定とする。 以上

6－7. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会の委員名簿

「学校関係者評価委員会」

No.	氏名	所属	任期
1	安部 喜方	企業等委員	2年
2	芦澤 尚義	企業等委員	2年
3	小林 正希	学校関連企業	2年
4	根本 美輝	学校関連企業	2年
5	長谷川 大	学校関連企業	2年
6	鈴木 唯花	卒業生代表	2年
7	船倉 千代子	近隣住民代表	2年
8	黒川 智洋	学校関連企業	2年
9	冨田 祥史	卒業生代表	2年

2024 年度 専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園
学校関係者評価委員会議事録

作成日:2025 年 3 月 10 日(月)

日時	2025 年 3 月 10 日(月) 10:00～11:30	場所	千葉キャンパス 1 号館 502 教室	進行 /小林	記録 /齋藤
出席者	安部 喜方　氏　(株式会社花門フラワーゲート 顧問) 根本 美輝　氏　(株式会社ベイエフエム 本社営業部営業課・事業開発部 主任) 小林 正希　氏　(株式会社COREZON 代表取締役社長) 長谷川 大　氏　(株式会社ニッセイアド 代表取締役) 黒川 智洋　氏　(株式会社スワット 代表) 鈴木 唯花　氏　(卒業生代表) 冨田 祥史　氏　(卒業生代表) 船倉 千代子　氏　(近隣住民代表) 西村 壽、千葉 山、鈴木 一弘、小松﨑 悠司、鈴木 友子、小園 達郎、槍崎 さやか(学校職員)				
欠席者	芦澤 尚義 氏(公益社団法人千葉県獣医師会 事務局長)				
議題	1、学校関係者・委員挨拶 2、委員長挨拶 3、学校報告 4、2024年度自己点検評価及び学校関係者評価 5、今後の学校運営についての意見交換				
議事録・経過要領	○定刻 進行役が開会を宣し上記の通り委員全員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。 ○議題1. 学校関係者挨拶・委員紹介 ・学校職員紹介 ・委員紹介				

○議題2. 委員長挨拶
・委員長代理の小林氏より、挨拶を行った。

○議題3. 議題. 学校報告
・2024年度運営の振り返り（重点方針、学生状況、学園生活アンケートの結果、重点方針）
・2025年度運営について（重点方針、新校舎、学生状況、組織、年間予定）の報告
・募集活動について（今年度の募集活動報告、今後の募集活動について）

○議題4. 2024年度学校関係者評価　（資料）:「自己点検・評価表」
・2024年度の自己点検・評価表を元に、学校関係者評価委員による評価を行った。
（別紙学校関係者評価表参照）
→全体的に一年間継続して高評価を受けている。評価点数変更・意見・改善方策等は以下の通り。

1.教育理念・目標
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

2.学校運営
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

3.教育活動
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

4.学修成果
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

5.学生支援
卒業生への支援体制　＊評価点数変更[2]（やや不適切）がある項目
【意見】
小林氏：卒業生に連絡が取れる体制や仕組みは必要なのではないか。
鈴木氏：気軽に相談できる環境づくりが引き続き必要。就職先の人との関係性の相談や転職の際に在校生と同じように求人情報を見られる環境があると嬉しい。
【改善策】
・職員の負担改善が優先で手が回っていない状況なので、卒業生向けのイベント（同窓会等）企画ではなく、在校生向けのイベント等に呼ぶなどの対応にシフトしている。
・コースごとに接点を持つ考え方。看護の国試模試支援、就職後にまだ経験が浅いため、実務の中でハサミをもつことが少ない学生へのトリミングの機会提供など。
・卒業生と相互にやり取りができる環境を構築していく。一例として学生配信ツール（オクレンジャー）を卒業後も数年継続利用することなど検討する。

6.教育環境
海外研修はあるか　＊評価点数変更[2]（やや不適切）がある項目
【意見】
冨田氏：数十年前のハワイ大学への1か月の任意研修が好評だった。
小林氏：今は国内のペット頭数減によりアジアシフトの時代。学生にも海外に視野を広げてほしい。
【改善方策】
費用面もあり、長期の海外研修は厳しいが、交流中心の数日の海外研修やオンラインを利用した海外の学生との交流を図る機会を設ける。

7.学生の受入れ募集
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

8.財務
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

9.教育の内部質保証システム
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

10.社会貢献・地域貢献
自己点検・評価表の通り。意見等も特になし。

11.国際交流
国内外で評価される取組を行っているか。 ＊評価点数変更[2](やや不適切)がある項目
評価点数変更[2]→[3](議題5.の際に評価点数変更)
【意見】
西村校長: 毎年受け入れている、韓国(大田)のウソン情報大学の学生から高評価を得ている。現地で学生同士でもAIKの話題が上がっているので、そこをパイプ役として相互交流できないか。動物を多く飼育している環境が強みなのでその点も十分活かせる。
千葉部長: 数年に渡り、台湾とも交流がある。台湾のペットフード関連企業が開催する業界セミナーに毎年当校から講師を派遣している。セミナー自体の修了証も当校が発行している。昨年企業の代表が来校され学校に対して大きな関心をもってくれており、近日中に企業を通じて農水省のペット部門のトップが来校される運びにもなっている。
小林氏: コロナ前に行っていた外部イベントを少しずつでも実施していったらよいのではないか。
長谷川氏: 自己評価が低いのではないか。韓国の大学や台湾の件も含め、国内外に評価を受けているので、評価[3]はあると考える。

○議題5.今後の学校運営についての意見交換
【意見】
船倉氏: 近隣として近くの大学からは具体的なカリキュラムに関連したセミナー等の案内が回覧板で回ってくる。SNSだけでなく紙媒体や自治体を通じての宣伝も効果的ではないか。避難情報等も発信したほうがよいのではないか。
冨田氏: 海外のトリミングコンテスト等に参加する卒業生(または企業)へのアプローチをするのはどうか。交通費補助等の支援、サポートの代わりに、学校の広告塔になってもらう。
長谷川氏: 韓国の大学の受け入れ情報を宣伝したほうがよい。AIKに来るためにその大学に入る学生がいることや現地で厳しい校内選抜があることなども発信したほうがよい。
安部氏: 大学の公友会もアプリ作成した。時代的にもHPや手紙を見ないため、一方的な発信だとしてもツールを使うのはよい。大会にボランティアで参加する際も卒業生やHPに記載したらどうか。
黒川氏: 教師の人材不足の面は、専門家や企業など外部をうまく利用する価値はある。
根本氏: SNS上でAIKの発信にて対して当社がリポストした結果、より多くの方に拡散した事例があり、好評だったので継続するのがよい。海外留学・アジア韓国はSNSが日本と比べ物にならないくらい規模が大きいので、海外向けにもSNSを活用したほうがよい。
鈴木氏: 看護業界でも海外の講師を招いた勉強会の参加者が増加しているので、海外に視野を向けることは業界的にも大切である。

・次回2025年度の開催は2026年3月10日(火)を予定とする。

以上

6－8. 教職員研修

1. 研修方針

学園及び学校の業務に必要なスキルを計画的に教職員に習得させ、まごころと思いやりをもった職業人を育成することを目的とする。現在の業界のニーズに合った専門性と、社会人基礎力を身に付けた人材を育てる場として、専門知識の向上を行う。

2. 研修実績

期間	研修名	連携企業・団体	内容	対象	区分*
2024/4/12	LIFOセミナー	(株)ビーコンラーニングサービス	全学生対象ビジネス共通科目指導「自己理解」プログラム	職員	指導
2024/4/29	D.I.N.G.O.プロコース	(有)DORG	しつけ教室運営方法の実技と講習	動物管理科教員	専門
2024/6/1	服部幸webセミナー 猫のトレーニング	服部幸セミナー運営事務局	猫のトレーニング方法について	動物管理科教員	専門
2024/6/26	保護者対応研修	株式会社システムブレーン	初期対応の重要性を知り、クレーム対応力を身につける。	全教職員	専門
2024/7/5	引退競走馬のリトレーニング講習会	公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会	持田裕之氏による『ナチュラルホースマンシップを取り入れた引退競走馬のリトレーニング講習会』	動物管理科教員	専門
2024/8/1	ペットマッサージ認定資格コース	一般社団法人 日本ペットマッサージ協会	基礎解剖学・基礎東洋医学論・基礎リンパ理論、症状別実践テクニックなど	動物看護科教員	専門
2024/8/1	ロイヤルカナン ベテリナリーシンポジウム-for Vet Nurse-	ロイヤルカナンジャポン	7歳から始めるケア　愛玩動物看護師が知っておくべきこと	動物看護科教員	専門
2024/8/2	学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団	学級集団つくりと学生個人面談の方法	動物看護科教員	指導
2024/8/6	中堅教職員研修	一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会	メンタルヘルス研修	動物管理科教員	指導
2024/8/17	服部幸webセミナー	服部幸セミナー運営事務局	困った…猫が食べない どうする？	動物管理科教員	専門
2024/8/18	ロイヤルカナン ベテリナリーシンポジウム-for Vet Nurse-	ロイヤルカナンジャポン	7歳から始めるケア　愛玩動物看護師が知っておくべきこと	動物看護科教員	専門
2024/8/20～23	新任教員研修	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 一般社団法人 千葉県専修学校各種学校協会	教員認定講習会	動物看護科、動物管理科教員	指導
2024/9/12	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	パピークリップⅡの実技講習	動物管理科教員	専門
2024/9/21 2024/9/22	一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム 年次大会2024	日本臨床獣医学フォーラム	創傷治療とケアについて ぐったりした猫が来た（ショック） 入院集中麻酔下における体モニター他	動物看護科教員	専門
2024/9/22	一般社団法人 日本臨床獣医学フォーラム 年次大会2024	日本臨床獣医学フォーラム	入院カルテ大公開 回復期の為の栄養管理 猫の歴史	動物管理科教員	専門
2024/10/7～10/9	アシスタント・インストラクタークラス	(有)DORG	しつけ教室のアシスタントについて 講習と実技（全3日間）	動物管理科教員	専門
2024/10/16～2/26	フラワーレッスン	株式会社フラワーバスケット	プライマリーコース（全5回）	植物管理科教員	専門

3．研修計画

期間	研修名	連携企業・団体	内容	対象	区分*
2025/4/1~6/30	犬と猫の心肺蘇生法　～導入から蘇生後の管理まで～	フクダ エム・イー 工業株式会社	（無料オンデマンド動画配信にて）心肺蘇生総論、胸部圧迫、人工呼吸、心電図注射薬、ショック適応波形、心停止症候群とは、自己心拍再開後の集中治療	動物看護科教員	専門
2025/4/2~	フラワーレッスン	株式会社フラワーバスケット	プライマリーコース（全5回）	植物管理科教員	専門
2025/4/10~	いぬらぼ	FULFILL Dog salon	ドッグトレーニング基礎知識学（全18回）	動物管理科教員	専門
2025/5/24	服部幸webセミナー	服部幸セミナー運営事務局	膵炎のサインとその対処法	動物管理科教員	専門
2025/6/9~11	乗馬指導者養成講習会	公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会	一般市民に対して乗馬を安全で適正に指導できる乗馬指導者の養成	動物管理科教員	専門
2025/7/16	動物看護師だから伝えられる、動物看護師だからこそ伝えたい「顕微鏡から動物を救うセミナー」	ペピイセミナー	顕微鏡を使用した検査のスキルアップ	動物看護科教員	専門
2025/9/18	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	ミニチュア・シュナウザーを基本から学ぼう。毛質や毛流、プラッキングの徹底解説及び実演	動物管理科教員	専門
2025/11/8	JKC 義務研修会	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	ベドリントン・テリアのトリミング	動物管理科教員	専門
2025/11/16	CATvocate	JSFM(Japanese Society of Feline Medicine)	猫の専任従事者を育成するためのプログラム	動物看護科、動物管理科教員	専門

＊専門・・・専攻分野に関する知識、技術、技能を修得・向上するため
指導・・・授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するため
職員・・・役職別研修や学校事務研修など学校組織で働くため

６－９．教職員・講師

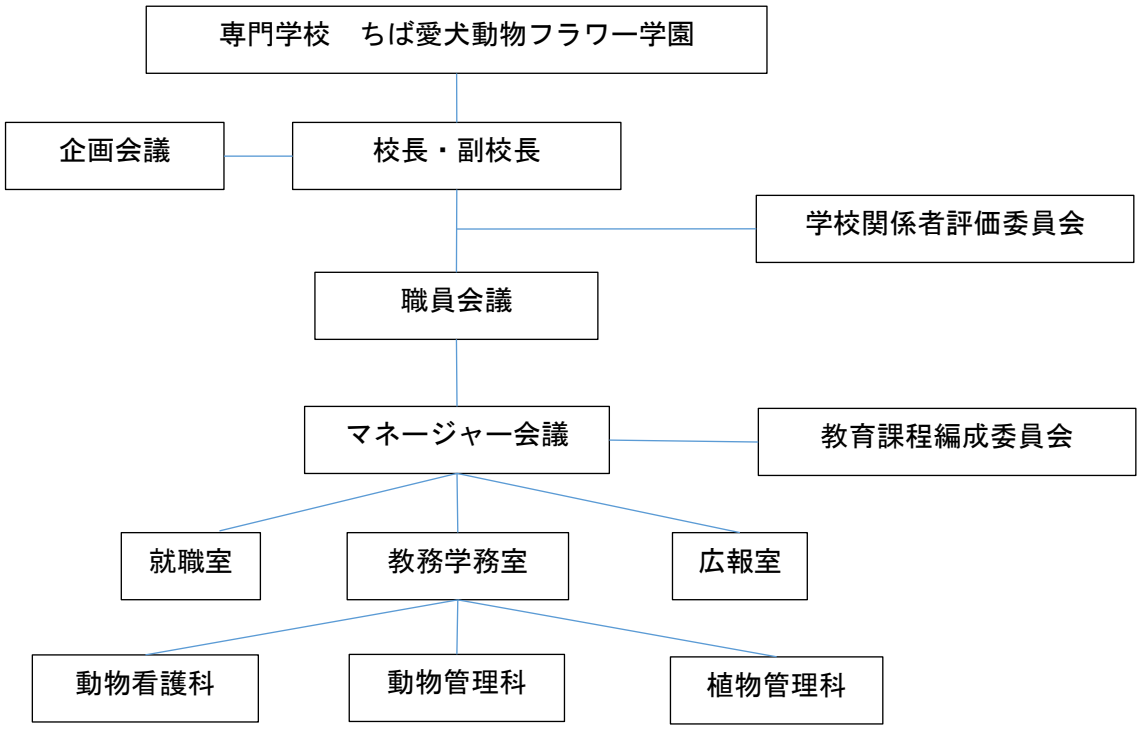
○教職員数

2025年度

男女別		専任	兼任	専任・兼任計
教員	女	19	62	81
	男	7	44	51
	計	26	106	132
職員	女	5	0	5
	男	5	2	7
	計	10	2	12
合計		36	108	144

専任教職員職名別	人数
校長	0
副校長・事業本部長	1
事業副本部長	1
事業本部長補佐	1
室長	2
その他マネージャー	2
リーダー	9
一般職	20
合計	36

○教職員の組織



○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
1	千葉 山	○		自己理解
2	小園 達郎	○		就職
3	津島 幸織	○		就職
4	荒井 千鶴	○		就職
5	鈴木 友子	○		就職
6	植田 慎司	○		就職
7	青木 莉紗	○		就職
8	青柳 紘枝	○		動物医療コミュニケーション
9	加藤 麻衣子	○		動物臨床看護実習
10	渡邉 愛海	○		動物臨床看護実習
11	佐藤 湧矢	○		基礎看護学
12	加納 奈奈	○		動物看護学概論
13	中村 琴音	○		看護実践学
14	木村 光太	○		グルーミング実習
15	奥野 亜実	○		グルーミング実習
16	福島 詩菜	○		ドッグトレーニング
17	高橋 夏樹	○		ドッグトレーニング
18	行元 菜々	○		ドッグトレーニング
19	青木 春菜	○		動物管理実習
20	山田 悠暉	○		小動物ゼミ
21	相馬 雅代	○		キャットグルーミング
22	山口 遥香	○		キャットグルーミング
23	千葉 千尋	○		騎乗トレーニング
24	篠原 好樹	○		動物管理実習
25	今井 恵美	○		グルーミング実習
26	近江 茉穂	○		グルーミング実習
27	西村 壽		○	外科動物看護実習
28	奥村 衣里		○	動物臨床看護実習
29	平田 繭子		○	動物看護学
30	迎 一彦		○	動物臨床看護実習
31	森本 正樹		○	動物臨床看護実習
32	蟻川 晃司		○	動物臨床看護実習
33	鈴木 晴菜		○	動物看護実習
34	安間 マユミ		○	PEIAシルバー実習
35	勝田 彩水		○	グルーミング実習
36	伊賀 汐梨		○	グルーミング実習
37	山田 梨織		○	グルーミング実習
38	蓮井 洋子		○	PEIAシルバー実習
39	佐藤 公一		○	グルーミング実習
40	川島 千夏		○	PEIAシルバー実習
41	髙橋 桜華		○	グルーミング実習
42	髙野 咲菜		○	グルーミング実習
43	杉浦 一希		○	訓練実習
44	林 奈央		○	訓練実習
45	飯坂 朋琉		○	動物管理実習
46	平方 亜美		○	動物管理実習
47	清水 健		○	水生生物ゼミ
48	川崎 佑人		○	動物管理実習
49	荒井 将太		○	動物管理実習
50	中島 花楓		○	動物管理実習
51	熊谷 凌太朗		○	キャットグルーミング
52	髙橋 舞		○	動物管理実習
53	山平 玲奈		○	動物管理実習
54	郷原 恵子		○	騎乗理論
55	丸尾 優菜		○	指導者理論

○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
56	田山 かおり		○	動物管理実習
57	大塚 恵子		○	動物管理実習
58	増田 美穂		○	動物管理実習
59	飯尾 龍也		○	ドッグトレーニング実習
60	板石 琉来		○	動物管理実習
61	白鳥 遥		○	動物管理実習
62	大園 沙季		○	動物管理実習
63	吉森 葵		○	動物管理実習
64	杉本 直也		○	動物管理実習
65	庭野 咲希		○	動物管理実習
66	中村 真啓		○	動物管理実習
67	藤井 亜美		○	動物管理実習
68	西村 ひかる		○	動物管理実習
69	田久保 桜		○	動物管理実習
70	倉持 洸太		○	動物管理実習
71	岩井 柊磨		○	動物管理実習
72	琴寄 昌子		○	産業動物学
73	大野 耕平		○	動物疾病看護学
74	太田 紘平		○	公衆衛生学
75	村田 佳輝		○	動物臨床看護実習
76	櫻井 峰香		○	動物形態機能学
77	先崎 仁思		○	動物医療関連法規
78	中根 崇		○	動物感染症学
79	周藤 行則		○	動物臨床看護実習
80	永井 貴志		○	ペット関連産業概論
81	遠藤 征明		○	動物臨床看護実習
82	須郷 貴行		○	動物看護実習
83	乙守 智奈美		○	動物生活環境学
84	森山 友美		○	動物臨床看護実習
85	山中 翔太		○	動物臨床看護実習
86	村上 覚史		○	動物病理学
87	桑原 佐知子		○	動物繁殖学
88	小倉 広夢		○	動物看護実習
89	茂野 沙也香		○	グルーミング実習
90	木村 光延		○	グルーミング実習
91	粟盛 真理		○	PDマネジメント
92	湯浅 翔平		○	グルーミング実習
93	西村 沙樹		○	グルーミング実習
94	塩田 沙羅		○	グルーミング実習
95	油木 真砂子		○	エクスペリエンス行動学
96	大井 史也		○	グルーミング実習
97	冨澤 彩		○	犬学
98	平岡 里実		○	グルーミング実習
99	小林 正希		○	ドッグプレーニング
100	千田 純子		○	イヌの健康管理学
101	外山 亜季		○	ドッグトレーニング
102	大川 隼人		○	訓練実習
103	山﨑 音羽		○	訓練実習
104	細田 信幸		○	ドッグブリーディング
105	宗近 功		○	野生動物学
106	横川 勝章		○	水生生物学
107	滝口 準一		○	愛玩動物飼養管理論
108	祖一 俊介		○	ペット業界論
109	村上 幸子		○	愛玩動物飼養管理論
110	濱保 衣都子		○	キャットショー研究

○教員の専門性

	氏名	専任	兼任	担当科目・資格・経歴・所属等
111	野口 健		○	馬の獣医学
112	青野 菜名		○	HORSE TAPING
113	岡 有美		○	HORSE TAPING
114	橋立 和子		○	ハーブ＆ローズ
115	菊池 大		○	JIFD実習
116	小松 弥生		○	JIFD実習
117	南木 智子		○	JIFD実習
118	野田 誠		○	JIFD実習
119	橋口 学		○	植物造形理論
120	長久保 長子		○	アーティフィシャルフラワー
121	杉浦 幸雄		○	フラワーショップビジネス
122	茂呂 康代		○	いけ花
123	沖渕 育子		○	いけ花
124	平塚 弘子		○	いけ花
125	鈴木 博幸		○	フラワー商品知識
126	菊地 律子		○	花色彩学
127	有薗 直美		○	フラワー装飾技能士対策
128	松本 繁美		○	ビジネストレーニング
129	中島 雅子		○	パソコン
130	勝俣 和悦		○	ペット業界論
131	古沢 真紀		○	ビジネストレーニング
132	林 由美子		○	ビジネストレーニング

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科トリマーコース(2024年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	グルーミング実習2				252	264	17	516	木村 光延	有	サロントリマー兼経営者としてのキャリアを有し、雇用者/被雇用者両方の視点でのトリマー指導が可能。またサロンスタッフとしての心得や接客対応術などの指導も可能。【JKC公認トリマーライセンス所持】

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数 516 時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科トリマーコース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	グルーミング実習	252	264	17				516	佐藤 公一	有	サロントリマー兼経営者として30年を超えるキャリアを有し、雇用者/被雇用者両方の視点での指導が可能。またサロンスタッフとしての心得や接客対応術などの指導も可能。【JKC公認A級トリマーライセンス所持】

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数 516 時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科トリマー(夜間部)(2024年度入学)							講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			単位数						時間数			
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	グルーミング実習2				160	172	11	332	安間 マユミ	有	ペットショップ・トリミングサロンなどの実務経験を活かし、犬の基礎的な知識から実際の現場で必要になる知識を伝えることで、現場のニーズに応えた指導ができる。【JKC公認A級トリマー取得】

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　332 時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科トリマー(夜間部)(2025年度入学)							講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			単位数						時間数			
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	グルーミング実習	199	211	13				410	木村 光太	有	トリマーとしての長年の経験を活かし、犬の基礎知識から実際の現場で必要になる知識を伝えることで、現場にニーズに応えた実践的な指導ができる。

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　410 時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科ドッグトレーナーコース(2024年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	選択演習 インストラクター専攻					174	5	174	大川 隼人	有	JAHA認定 家庭犬しつけインストラクター取得。個人宅への出張でのレッスンや動物病院でのしつけ教室を開催。
2	専門	選択演習 訓練専攻					174	5	174	杉浦 一希	有	犬トレーニング玩具輸入販売会社に就職、犬関連イベントへの出店・企画、関連グループ会社にて遊びを通したトレーニングを実践

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　※174　時間

※選択演習はインストラクター／訓練専攻に分かれて実施。科目としては一科目のため、学科計は348時間ではなく174時間とする。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科ドッグトレーナーコース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	訓練実習	84	84	5				168	杉浦 一希	有	犬トレーニング玩具輸入販売会社に就職、犬関連イベントへの出店・企画、関連グループ会社にて遊びを通したトレーニングを実践

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　168　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科動物飼育コース(2024年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	動物管理実習2				90	90	6	180	蟻川　晃司	有	臨床獣医師を20年以上務めている

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　180　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科動物飼育コース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	動物演習	39	42	5				81	平方 亜美	有	ペットショップの勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる
1	専門	動物管理実習	78	81	5				159	平方 亜美	有	ペットショップの勤務経験をもとに、基礎的な知識・技術を指導できる

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　240　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科キャットプロコース(2024年度入学)							講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年			時間数			
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	グルーミング実習2				156	174	11	330	茂野 沙也香	有	ペットショップ・トリミングサロン・動物病院などの経験を活かし、現場で必要となる知識スキルを指導することが出来る。【JKC公認A級トリマーライセンス所持】

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　330　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科キャットプロコース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	基礎看護学	26		1				26	佐藤 湧矢	有	動物病院で2年の実務経験あり。
1	専門	グルーミング実習	78	78	5				156	伊賀 汐梨	有	トリミングサロンでの経験を活かし、現場で必要となる知識スキルを指導することが出来る。【JKC公認トリマーライセンス所持】

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　182　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科ホースプロコース(2024年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	動物管理実習2				123	100	7	223	千葉 千尋 丸尾 優菜	有	乗馬指導者資格あり

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　223　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	動物管理科ホースプロコース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	騎乗トレーニング	220	224	14				444	千葉 千尋 郷原 恵子 丸尾 優菜	有	乗馬指導者資格あり

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数　444　時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	植物管理科フラワーデザインコース(2024年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	JIFD実習2				84	84	5	168	小松 弥生	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、豊富な実務経験と知識で高度な技術を、時代とニーズにあった指導をすることができる。

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数 168 時間

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

学校整理番号(115)

No	分野	授業科目名	植物管理科フラワーデザインコース(2025年度入学)						時間数	講師名	実務経験有無	専門資格・実務経験・所属等
			1年			2年						
			前期	後期		前期	後期					
			時間	時間	単位	時間	時間	単位				
1	専門	JIFD実習	90	90	6				180	野田 誠	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会理事。 豊富な実務経験と知識で高度な技術を時代とニーズにあった指導ができる。

実務経験のある教員等による授業科目合計時間数 180 時間